

目次 Contents

特集「私のまちの市長室」 2

モバイル・ウェブ

G・Wカメラスケッチ 8

行政情報便

- 横手市誕生記念式典 10
- 市長ですこんにちはほか

地域の話題

- NEWS東西南北 14

情報information

- お知らせ 16
- いどばたプラザ

読者の声

20

思えば遠くへ来たもんだ

- 佐藤淑子さん(平鹿) 22

巧(たくみ)

- 沖田武さん(横手) 23

横手遺産

- 旧日新館(横手) 24

伝統を受け継ぎ勇壮に

平鹿地域醍醐の荒処集落の厳島神社に300年以上受け継がれてきた「沼入りぼんでん」。下帯姿の男衆が威勢良くぼんでんを突き立て、五穀豊穡などを祈願しました。(関連記事14頁)



統一テーマ **新横手市の農業**

「私ならこうしたい！」

8会場で356人が参加

「私のまちの市長室」は、4月10日から市内8地域で行われ、延べ356人が参加しました。第1回目となる今回の統一テーマは『新横手市の農業「私ならこうしたい！」』。平成19年から大きく変わる農業政策に備え、これからの農業について意見交換するとともに、8地域の特色を生かしたまちづくりを目指した「地域別テーマ」についても話し合われました。

農政改革への期待と不安

統一テーマでの意見交換では、19年から始まる農政改革（経営所得安定対策等大綱）を中心に

活発な意見交換が行われました。

大綱のうち、柱となる「品目横断的経営安定対策」は、これまで全農家を対象としてきた品目ごとの「価格政策」を「所得政策」に転換し、「担い手（認定農業者と一定の要件を満たした集落営農組織。いずれも一定の経営規模が必要）」でなければ助成を受けることができなくなるという、従来の一律的な農政を大幅に見直すものです。小規模経営の農家や集落は、再編の岐路に立たされています。

このため、参加者からは、「米だけでは農業の維持は困難。若い人たちが夢を持って取り組めるようにしてほしい」「農家や行政は、もっと危機感を持たなければ乗り越えられない問題」「大綱の内容を知らない人が多

【特集】

私のまちの市長室

「信頼される市政」、「市民と協働のまちづくり」を目指して

市では、市民の皆さんの意見や提案を市政に反映させるための取り組みとして、「私のまちの市長室」を4月10日から4月21日にかけて、市内8会場で開催しました。

これは、市長が定期的に各地域に出向き、市全域の課題や地域ごとの課題について、市民の皆さんと直接意見を交わすもので、全地域統一のテーマ、地域別のテーマに添い、様々な話し合いがされました。

今号では各地域で開催された「私のまちの市長室」の概要をお知らせします。

行われました。

市長は「地域の発展を願う市民皆さんの熱い思いを今後の市政に反映できるよう努力していきたい」と話しました。（地域別テーマの概要については、4ページから7ページに記載）

2回目は秋に開催予定

市では、今年度2回目となる「私のまちの市長室」を秋に開催する予定です。

より良い意見交換の場となるよう、会の進行等の内容を再検討し、市民の皆さんの参加をお待ちしています。

地域の特色を生かす

市長室では、統一テーマのほか、地域が抱える問題や特色あるまちづくりを考える「地域別テーマ」、市政に対する意見等を話し合う「フリートーク」も



各地域それぞれで活発な意見交換が行われました

横手

横手駅前活性化を目指すには

〔駅前再開発と活性化対策〕

地域別テーマ



4月12日、あさくら館で開かれた市長室には、48人が参加。地域別テーマである「横手駅前の活性化を目指すには」について話し合われました。

参加者からは、「他市の駅前では、空き店舗を子どもたちが集う憩いの場として活用しているところがある。横手駅前にもこのような場所があってもいいのではないか」といった意見や「計画では、開発区域内に公共の施設や住宅、商店などの参入

スペースを作りたいとのことだが、どこに特徴があるのか、今ひとつ理解できない。進むべき方向をもっと明確に打ち出してほしい」などの意見が出されました。

これに対し市長は、「駅前開発については、まだ計画の段階で具体的なことは決まっていない。計画区域の23区の中に、何が必要かを見きわめていきたい。合併前に積み重ねた議論も大切にしながら、横手駅前が新市の

玄関口として魅力あふれる場所となるよう、事業を進めていく考えです」と話しました。

また、「合併したことにより、たくさんの方が集まる会議や催しなどが増えてくるのではないかと。今ある施設でこれらに対応できるのか。間借りをしたり、店舗の空きを待つのではなく、広いスペースが確保できる集会施設が必要だ」との意見も出され、市長は「合併後、会議のスペースや図書館などの施設が明

らかに不足しているのを感じている。そういった施設が駅前にあるのが良いか、他地域とのバランスも考えながら検討していきたい」と話し、理解を求めました。



増田

観光資源を生かしたまちづくり

地域別テーマ



増田地域では4月10日、多目的研修センターで市長室が開かれ、47人が参加。「観光資源を生かしたまちづくり」について話し合われました。

参加者からは、「増田にはたくさん観光資源があり、これをどう生かしていくかが課題。中でも地域内に数多く存在する『内蔵』は、他には無い財産だ」と思う。観光ルートの一つとして、開放してくれている蔵も数か所あるが、保存や修復等、維持管理が大変だと所有者も話している。市や地域がこれらの保存、継承を支援しながら、観光資源として生かしていくことはできないか」といった意見や、

「各地域のお祭りや伝統芸能が集まり、披露する機会や催しがあってもいいのではないか。合併以降、横手地域とぼんでのんの交流が実現するなど、合併の効果とも言えるつながりが生まれてきた。たくさんの人に興味を持ってもらい、知ってもらうことは、宣伝にもつながる」といった合併による地域間との交流を観光宣伝に生かそうという意見も出されました。

このほか、「農産物と観光との連携」や「地域おこしのため、市長が認定する独自の職人制度や『現代の名工』ならぬ『横手の名工』制度を設けてみてはどうか。例えば増田にもある日本そばを活用した『そば職人』の認定など」といった様々な角度からの意見、提言が出されました。



市長は、「観光施設も内蔵も『生かしてこそ保存』だと思います。皆さんと新横手市の観光資源をどう生かしていくか考えていきたい」と話しました。

平鹿

子育てのしやすい環境づくり

地域別テーマ



4月15日、平鹿生涯学習センターで開かれた市長室には63人が参加。「子育てのしやすい環境づくり」について話し合われました。

参加者からは「子育てはお金がかかる、自分の時間が無くなるといった『負』のイメージを持つ若い人が多いのではないか。子どもが生まれればこんなにいいことがある、保育園に入ればこんなに楽しいことがある等、『負』のイメージを払拭

し、子育ては楽しいといった意識を若い人たちがもてるようなアピールを市が行う必要があるのではないか」という意見が出されました。

また、「会社員は育児休暇が取りにくいと聞く。休暇取得中の給料の問題など、経済支援を検討できないか」といった意見や「子育てのしやすい環境づくりは、お金をかければよいというものではない。行政や地域、企業なども含め、一体となった

環境づくりが必要」などの提言も出されました。

市長は、「より良い子育て環境を構築していくことは、非常に重要な課題です。市が行う事業や制度をもっとわかりやすく、魅力的に皆さんに伝わるよう努力したい。子育て支援課はもとより、今年度から設置した男女共同参画推進室とも連携しながら、子どもを生み、育てやすい社会と環境づくりを考えていきたい」と話しました。会場から



は「全地域で子育てをテーマにした話し合いを進めてほしい」といった要望も出されました。

雄物川

雇用の拡充による地域の活性化を目指して

地域別テーマ



4月13日、雄物川コミュニティセンターで市長室が開かれ、43人が参加。「雇用の拡充による地域の活性化を目指して」について話し合われました。

参加者からは、「雇用の創出には誘致企業が不可欠。そのために市の支援が必要」「合併前にそれぞれの市町村で行っていた誘致企業への支援や企業間の連絡調整を図る組織等は合併後も存在するのか」といった誘致企業に関連した質問に加え、「新しく企業を起こそうとする人の相談を受ける機関が必要ではないか」「庁舎などの空いているスペースを、新規事業を起こす人に貸し出してはどうか」

といった起業に関する質問や意見が出されました。

これに対して、市は、「各地域に誘致企業や地元企業が集まった組織があり、現在も継続して活動している。市全体では各誘致企業が加入する県南工業振興会が研修会や情報交換を行っている。今後もこれら組織と連携しながら雇用対策を考えていきたい。また、起業に関しては、商業支援の相談を受け付ける機会を定期的に設けたいという考



えもあるのです、実現できるように努力していきたい」と説明。市長は、「北上市にある国内大手自動車製造工場が数年内に事業規模を大きく拡大するという動きがあります。製造に伴う部品の需要拡大が予想され、私たちの地域の企業にも大きなチャンスです。今後も情報収集に努め、雇用拡充の可能性を探っていきたい」と話すとともに、雇用対策は市の最重要課題であること、を改めて示しました。

大森

地域福祉保健活動と健康の丘おおもりの役割

地域別テーマ



4月17日、大森町コミュニティセンターで開かれた市長室には58人が参加。「地域福祉保健活動と健康の丘おおもりの役割」について話し合われました。

参加者からは、はじめに「要介護と認定されているわけでもなく、施設に入所させるほどではないが、高齢者を1人にさせるのは心配だ」というときが多々ある。これからは、そのような心配がますます増えることが予想されるので、一時預かり的な

制度があれば良いと思う」という提言があり、それに関連して「元気な高齢者は『施設に入るという感覚』だと抵抗を感じる」「リフレッシュなどのために自分で進んで集える場所が良いのでは」といった意見が交わされました。

また、障害者自立支援法の施行により自己負担が増えたサービス利用者に対する市独自の助成制度やグループホームをはじめとする、認知症患者に対する

支援の拡充を望む意見が出されました。

市側からは「サービスを一律に提供してきたこれまでと違い、これからの時代は、利用者1人ひとりの状況に応じたきめ細かなサービスの提供が必要。どのようなサービスがどの程度必要とされているか、需要を詳しく把握し、慎重に検討する必要があると感じている。年度内の策定が予定されている総合的な福祉計画について、具体的な内容

を盛り込むため、市民の皆さんのご意見をうかがう機会を設けていきたい」と、さらなる意見の提供を求めました。



十文字

まち(十文字区域)の活性化 ～道の駅活用を含めて～

地域別テーマ



十文字地域では4月21日、十文字文化センターで市長室が開かれ、26人が参加。「まち(十文字区域)の活性化」について話し合われました。

平成19年度にオープン予定の十文字道の駅。地域の特色を生かした施設にしたいと、参加者からは、「囲炉裏や昔の家具などを配し、懐かしい昔の暮らしにふられるコーナーを設けられないか。また、地域のボランティアグループの婦人らが郷土料理等を提供できるレストランがあれば、活動する婦人らの楽しみも増えるのでは」といった意見や、「秋田わか杉国体の賞状の一部に十文字和紙が使われ

ることになった。十文字の文化でもある和紙づくりを体験できるコーナーがあれば、文化の保存、継承にもつながるのでは」「地元の特産品の販売スペースが必要」「巡回バスなどを留意し、高齢者も道の駅の施設を気軽に利用できるようにしたらどうか」「各地域に道の駅推進員を置き、市や地域の様々な情報が道の駅から発信されるようなシステムを検討してほしい」といった具体的な意見、提言が数

多く出されました。市長は、「スペースの限界もあるが、道の駅は夢を提供するという目的があるので、皆さんからいただいた貴重な提案を少しでも生かせるよう検討していきたい。道の駅の運営は行政が直接行うものではないので、運営する方の考え方も重要となってくる。何よりも道の駅が地域の皆さんに親しまれ、愛される施設になるよう協議を進めていきたい」と話しました。



山内

地域資源を生かした観光施策について

地域別テーマ



4月20日、ニュータウン岩瀬「ふれあい館」で開かれた市長室には63人が参加。新市建設計画の中で、自然活用ゾーンに位置づけられている山内地域では、「地域資源を生かした観光施策について」が話し合われました。

参加者からは、「芝桜をはじめとする大松川ダム周辺の環境整備は、地域の経済に大きな効果をもたらしてきた。今年、芝桜まつりが開催されないのは残念だが、山内の芝桜は他の芝桜

の名所と比べても、決してひけを取らないほど素晴らしいもの。管理も大変だと思うが、ボランティアグループの協力を得るなどして、これからの芝桜を観光施策の一つとして生かしていくてほしい」という意見や「岩手、秋田を横断する国道107号線の沿線住民による交流が合併前から行われてきたが、住民有志による組織であったため、資金や周知などの面で限界があった。観光や文化の交流事業として、

市民と行政が一体となった取り組みで事業を展開できないか」などの意見が出されました。市長は、「芝桜を元の状態にするには、たくさんの方のエネルギーが必要だと思うが、調査を進め、景観を取り戻せるよう努力していきたい。また、国道107号線の交流については、文化的な交流も視野に入れ、検討していきたい。山内地域は東側に展望が開けているので、これをぜひ生かしていきたい」と話しました。



このほか、「ワラビを農業や観光資源として活用すべき」といった提言も出されました。

大雄

地域を活性化させるための「コミュニティづくりについて」

～集落営農の推進を目指して～

地域別テーマ



4月15日、大雄交流研修館「ふれあいホール」で開かれた市長室には20人が参加。大雄地域では「地域を活性化させるためのコミュニティづくりについて」

集落営農の推進を目指して」が話し合われました。地域別テーマの話し合いでは、市やJAを招いて説明会を開催したり、意向調査を実施したりするなど、集落営農を積極的に推進し、4月に会を立ち上げた大雄地域の大慈寺谷地集落の活動が紹介されたほか、参加者からは、「19年から始まる経営所得安定対策等大綱の内容を知らない人が多い。もっと危機感を持たなければ乗り越えられない

問題だと思う。特に兼業農家には情報が十分に伝わっているかどうか疑問。市には積極的な情報提供をお願いしたい」「これからは引退張っていき人がいなければ農業をやっていくには厳しい時代。担い手、リーダーを育成していく必要がある」といった意見が出されました。

これに対して市長は、「基幹産業である農業を取り巻く環境は年々厳しさを増すなか、大綱については、農家の皆さんだけでなく、市としても非常に重要な問題であると認識している。今後も皆さんの意見を聞きながら、研修会を開催したり、必要な経費について予算化するなど、関係機関と連携しながら、支援や相談ができる体制を作りたい。また、大雄地域にある実験農場がモデルとなり、ここから市全体に新たな農業が広がることに期待したい」と話しました。





名物たらいこぎ競争(増田)



矢口高雄氏サイン会(増田)



花まつり稚児行列(増田)



秋田スカイフェスタ(平鹿・大雄)



横手公園ファンタジックライトショー(横手)

春風に誘われて

行ってきました

ゴールデン ウィーク
G・W

カメラ

スケッチ



梨木公園(十文字)



真人公園(増田)



大森公園(大森)

総務大臣表彰受賞者 (市町村合併功労者)

五十嵐忠悦氏 (旧横手市長)
柿崎 幹夫氏 (旧平鹿町長)
佐々木孝志氏 (旧雄物川町長)
備前 雄一氏 (旧大森町長)
小川 健吉氏 (旧十文字町長)
藤原 清氏 (旧山内村長)
佐々木義広氏 (旧大雄村長)
柿崎 實氏 (旧横手市議会議長)
大石 康悦氏 (旧増田町議会議長)
眞田 倉平氏 (旧平鹿町議会議長)
利 源四郎氏 (旧雄物川町議会議長)
上田 隆氏 (旧大森町議会議長)
高橋 謙氏 (旧十文字町議会議長)
國安 格典氏 (旧大雄村議会議長)
石沢 英夫氏 (市町村合併の住民発議を進める会
会長)

横手市感謝状贈呈者 (法定協議会委員並びに監査委員)

千田 孝八氏 (旧増田町長)
佐藤 繁氏 (旧山内村長)
高橋 健一氏 (旧増田町議会議長)
八巻榮二郎氏 (旧雄物川町議会議長)
高安 進一氏 (旧大森町議会議長)
遠藤 一氏 (旧大森町議会議長)
田代 忠氏 (旧山内村議会議長)
山本幸右衛門氏 (旧横手市議会選出委員)
赤津 正雄氏 (旧増田町議会選出委員)
沼沢 清氏 (旧増田町議会選出委員)
佐藤 清春氏 (旧雄物川町議会選出委員)
平元 鐵雄氏 (旧大森町議会選出委員)
大友 照夫氏 (旧大森町議会選出委員)
佐藤 逸郎氏 (旧十文字町議会選出委員)
永沢 祐三氏 (旧山内村議会選出委員)
柴田多三郎氏 (旧大雄村議会選出委員)
伊藤喜代美氏 (旧大雄村議会選出委員)
米谷 恭一氏 (旧横手市識見委員)
斎藤 純子氏 (旧横手市識見委員)
内藤 良克氏 (旧増田町識見委員)
片倉由美子氏 (旧増田町識見委員)
大和谷道子氏 (旧平鹿町識見委員)
武内 正純氏 (旧平鹿町識見委員)
小笠原眞理氏 (旧雄物川町識見委員)
高橋 一枝氏 (旧雄物川町識見委員)
大嶋 秀夫氏 (旧雄物川町識見委員)
柴田 孝子氏 (旧大森町識見委員)
伊藤 英幸氏 (旧大森町識見委員)
佐々木 昇氏 (旧十文字町識見委員)
大木 紀子氏 (旧十文字町識見委員)
高橋 一郎氏 (旧山内村識見委員)
藤原 信子氏 (旧山内村識見委員)
黒澤 明子氏 (旧大雄村識見委員)
鎌田 芳彰氏 (旧大雄村識見委員)
谷口 勇氏 (法定協議会監査委員)
加藤 富博氏 (法定協議会監査委員)
照井 豊美氏 (法定協議会監査委員)



株丹達也総務省自治税務局企画課長(総務大臣代理)から総務大臣表彰を受け取る五十嵐忠悦市長



横手市感謝状は五十嵐忠悦市長から贈呈



祝辞を述べる寺田典城秋田県知事(左)と株丹達也総務省自治税務局企画課長(右)

ごとに地域課題の協議や主体的なまちづくりを行う機関として、旧市町村すべてに地域自治区と地域協議会の設置が完了し、いよいよ新市の体制が整い、本格的なまちづくりがスタートしました。

今後は解決しなければならぬ課題も数多くありますが、市民間の一体感を醸成し、行政との連携を深めながら、市民一人ひとりがそれぞれの立場でまちづくりに参画し、新市建設計画に掲げる「豊かな自然 豊かな心 夢あふれる田園都市」の実現に向けて、職員共々邁進することを誓います。

横手市誕生を祝い、各種団体がアトラクションを披露(左から、横手平鹿合唱連盟有志による合同演奏、金沢八幡太鼓保存会による金沢八幡太鼓、吉田小学校スクールバンドと国体マスコット・スギッチによるステージドリル)



市長式辞

新横手市は、新設合併としては県内初の郡市一体の合併であり、人口10万人を超える県内第二の都市として新たに誕生しました。

しかし、ここに至るまでの経緯を顧みると、決して平坦な道であり、平成15年3月31日に旧6市町村による任意合併協議会が発足してから昨年10月の合併実現までの2年6か月間は、紆余曲折がありながらも、まさに地域の枠を越えて時代に即応できる新市の体制作りと将来像を模索するために、あらゆる関係者が

多大なエネルギーを費やしたところは周知のとおりです。

現在、地方行政にあつては、地方分権の進展にともなう権限委譲への対応、国・地方あげての行財政改革の推進、さらに少子・高齢化社会や多様化する市民ニーズへの対応のほか、地域の最大の課題である雇用の創出など、新たな課題に的確に対処していくことが求められています。

そのためには、合併を市民サービス継続の大きな手段ととらえ、持続可能な行政として、より効率的な財政運営や行政運営を行っていく必要があるものと考えています。合併後、半年が経過しましたが、この間、旧市町村

合併による新横手市の船出を記念する「横手市誕生記念式典」が4月23日、秋田ふるさと村ドーム劇場で開催され、総務大臣、秋田県知事をはじめ、県内外の市町村や友好都市などから多くの来賓を迎えて盛大に挙行されました。

式典では、はじめに五十嵐忠悦市長が式辞を述べた後、田中敏雄横手市議会議長があいさつ。続いて、市町村合併推進のために尽力された皆さんに総務大臣表彰や横手市感謝状が贈呈されました。また式典の最後には、市民の皆さんによるさまざまなアトラクションが披露され、出席者は新市一体となつての発展を誓い合いました。

市政協力員など約1,100人が出席

横手市誕生記念式典

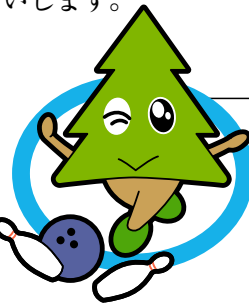


がんばれ



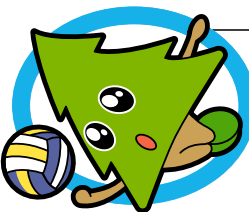
～国体だより～
No.2

方々をお迎えしますので、案内や介助などのボランティアをはじめ、市民のみなさんの応援をよろしくお願いします。



ボウリング

平成19年10月13日(土)
～10月14日(日)
会場：台由ボウル



バレーボール (オープン競技)

平成19年10月14日(日)
会場：横手体育館

■国体に関する問合せは
総務企画部国体推進事務局
(平鹿庁舎内) ☎35-2171



秋田わか杉大会

きっと出会える! 夢と感動

オリンピックの直後に開催されるパラリンピックをご存じですか?
「秋田わか杉国体」の後にも同様に、全国障害者スポーツ大会「秋田わか杉大会」が開催されます。

この大会は、障害者が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、広く障害に対する理解を深め、障害者の社会参加に寄与することを目的とした障害者スポーツの祭典です。

ここ横手市でも、2競技が行われます。全国各地から多くの選手の

▼デモンストレーションとしてのスポーツ 行事(デモスポ行事)も開催

「秋田わか杉国体」では、正式競技、公開競技と併せて、「デモスポ行事」も開催されます。
横手市では、身近なスポーツとして親しまれているバウンドテニスが行われます。



バウンドテニス

平成19年9月2日(日)
会場：大森体育館

子育て

児童扶養手当・特別児童扶養手当の月額が変わりました

4月1日から、『児童扶養手当』と『特別児童扶養手当』の月額が変更になりました。

父親がいない家庭や父親が一定の障害の状態にある家庭等で、18歳に達した日以降の最初の3月31日までの間にある児童を監護または養育している方に支給される『児童扶養手当』、精神または身体に障害のある20歳未満の児童を監護または養育している方に支給される『特別児童扶養手当』等については、「自動物価スライド制」が採られており、平成18年度の手当額は法改正により下記のとおりとなります。

●児童扶養手当

	改正前	改正後
全部支給 (児童1人の場合)	月額 41,880円	月額 41,720円
一部支給 (児童1人の場合)	月額 41,870円～9,880円	月額 41,710円～9,850円

※2人目は5,000円を加算、3人目以降は1人につき3,000円を加算

●特別児童扶養手当

障害等級	改正前	改正後
1 級	1人につき 月額 50,900円	1人につき 月額 50,750円
2 級	1人につき 月額 33,900円	1人につき 月額 33,800円

■問合せ 市福祉環境部子育て支援課(大森庁舎内) ☎26-2113

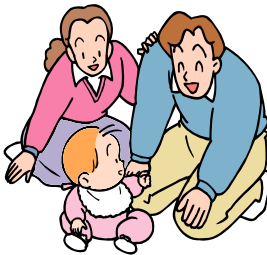
子育て

あなたの意見を、子育て支援に反映させます 次世代育成地域協議会委員を募集

横手市では、次代の社会を担う子どもが、健やかに生まれ育つことができ、男女が互いに尊重・助け合いながら、安心して楽しく子育てが出来る家庭と地域社会づくりを目指し、子育て支援事業に取り組んでいます。

この事業の評価や幅広い視点からのご意見等をいただきながら、より一層計画を推進させるため、「協議会委員」を募集します。

子育て経験豊富な方、子育て真っ最中の方、これからの世代を担う高校生の積極的なご参加をお願いします。



- 募集人数 一般市民3人・高校生3人
- 活動内容 年3回程度、会議を予定しています
- 任期 2年間
- 申込期限 5月31日(水)まで
- 応募方法 「結婚・子育て」への想いを、800字以内(様式は自由)にまとめ、最寄りの地域局福祉保健課へ提出してください

■申込み・問合せ 市福祉環境部子育て支援課(大森庁舎内) ☎26-2113

今回の市長面会日のお知らせ

市民の皆さんのご意見、ご提案をこれからの市政に反映させるため、市長が直接お話を伺います。

■対象者 横手市民または横手市内の会社や学校に通勤あるいは通学されている方

■日時 (月1回開催) 5月29日(月)午後1時30分～3時
※1人あたり15分まで(定員6人)

■場所 市役所本庁南庁舎応接室
(旧横手平鹿広域交流センター)

■申込方法 5月25日(木)までに、電話・ファクス・メールのいずれかで、氏名・住所・連絡先・お話の内容をお知らせください

■申込み・問合せ 市総務企画部秘書広報課秘書担当
☎35-2111内線1033 ☎35-2221
Eメール = hisho@city.yokote.lg.jp

こんにちは

市長です

横手市長 五十嵐 忠悦



まず始めにおわびを申し上げます。不祥事が相次いで発生し、市民の皆さんの信頼を損ねてしまったこと、誠に申し訳なく存じます。職員には綱紀粛正の意識をさらに喚起し、今まで以上に組織として厳しく対処して再発防止に努めて参ります。

私のまちの市長室について

信頼される市政、市民と協働のまちづくりの推進を目指し、4月10日から21日にかけて市内8か所で、「私のまちの市長室」を開催したところ、お忙しい中多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございます。

今回は市民の皆さんの意見や提案を市政に反映させるための統一テーマを、新横手市の農業「私ならこうしたい!」と題してご意見を伺ったところ、ワラビなどの山菜を栽培して販売や観光に利用するといった前向きなアイデアや意見が数多く出されたなど、各地域の特色を生かした議論を通じて、理解を深める

ことができました。その他に平成19年度から導入される経営所得安定対策等大綱について、農家の皆さんから不安の声が寄せられ、市としても出来るだけのお手伝いをしていきたいと答えたとところであります。

同じ内容でも、文章を読んでいただくのと、私自身が語りかけるのでは伝わり方が違います。直接向き、市民の皆さんとひざを交えて双方のコミュニケーションが取れたことは大きな成果でした。1回目の今回は、会の進行も手さぐりで、質問者お1人に対し、私や担当者が回答する進め方でした。次からは、テーマや進め方を工夫し、1対1だけではなく、参加者の皆さんを巻き込んだ議論に発展させ、さらに相互理解を深めながら、市の考えを伝えていきたいと思っています。

次回の「私のまちの市長室」は秋に開催する予定です。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

園児も一緒にゴミ拾い

■大森公園周辺をクリーンアップ(大森)

大森公園さくらまつり期間中の4月20日、26日、5月2日にわたって日本赤十字社大森分団と大森婦人会が合同で大森公園とリゾート村周辺のクリーンアップを行いました。この活動は、みんなの公園をきれいにしようと昭和33年から毎年行っているもので、4月26日には大森保育園の年長19人と年中24人も参加しました。時折強い風が吹くなか、今年初めて参加した園児たちは「ゴミ発見!」とはしゃぎながらもゴミを拾い集め、「なんでこんなところにゴミがあるの? 捨てなきゃいいのにね」と話していました。



園児たちも協力し、ゴミを拾いました



先生の指導を受けながら、生け花に挑戦する参加者

花を生ける楽しさ味わう

■生け花教室(十文字)

コミュニティハウス「ね・ま〜れ」では、月2回生け花教室を開催しています。5月6日に開かれた教室では、春の花材を使っての生け込みが行われました。気軽に生け花が学べるとあって、初心者への参加が多いというこの教室。挿す角度や高さ、花の向きによって全く違ったものになる生け花に、参加者たちの表情は真剣そのもの。「一度習うと、その楽しさにすっかり魅了されてしまいます」と話ながら、慣れない手つきながらも一刺しずつ丁寧に花を生けこんでいました。

春の陽気の下で衣替え

■田代沢の鹿島様の「お召し替え」(山内)

4月29日、山内黒沢の田代沢地区(岩手県との県境付近)に立つ鹿島様を新しいわらで着せ替える「お召し替え」が行われ、地区の皆さんが約2時間半かけて完成させました。鹿島信仰は、疫病退散の神として各地に伝わっていますが、この地区では今から270年以上前に岩手県側で流行した悪病の侵入を防ぐために祀られたとされ、その姿は身の丈が4m50cm、県境方向に向いて両腕を大きく広げています。かつては同地区の別の場所にありましたが、昭和45年の集落の集団移転と共に現在の場所に移されたそうです。



地区の住民の皆さんが集まり、毎年この季節に行われる



選手宣誓する森田修仁さん(田根森小6年)

意気込み強く決意誓う

■スポーツ少年団大雄支部結団式(大雄)

4月23日、大雄交流研修館「ふれあいホール」を会場に、スポーツ少年団大雄支部の結団式が行われました。式には、団員の子どもたち約190人が並び、代表として田根森小学校野球スポーツ少年団のキャプテン、森田修仁さんが選手宣誓。声高らかに、「スポーツマン精神で正々堂々と戦ってきます」と強い決意を誓いました。この後、子どもたちはカーリングを体育館で楽しむユニカルという競技やグランドゴルフに挑戦。珍プレー好プレーが飛び出すにぎやかな交流が繰り返されました。



満開の桜の下、中学校男子・女子、高校女子の部が緊張のスタート

強豪校が集結し熱戦を展開

■「中学校女子ソフトテニス増田招待」(増田)

5月5日、「第6回増田町全県中学校女子ソフトテニス招待選手権」が湯沢市・稲川スポーツエリアにおいて開かれ、県内外から9校113人の生徒が参加しました。これは、県内の中学校女子ソフトテニスのレベルアップと秋田わか杉国体に向けた選手強化を目的に開かれているもので、大会には宮城県から鶯沢中学校も参加。終日、強い風が吹く中、個人戦・団体戦に分かれ熱戦が繰り返されました。大会の結果、個人戦では後藤紘子・後藤美紅組(増田)が、団体戦でも増田中学校が優勝を飾りました。

桜香るコースで健脚を競う

■第41回横手観桜駅伝競走大会(横手)

5月3日、横手スキー場入口を発着地とする周回コースで横手観桜駅伝競走大会が開催され、中学校の部(男子・女子)、高校の部(男子・女子)、一般対抗、職場対抗の6部門に合わせて39チームが参加しました。1チーム4人で行われたレースは、熊ノ堂沼や明永沼のほとりを走る1周約3kmのコースを周回して櫓をつなぐもの。天気にも恵まれたこの日、満開を迎えた桜がゆれる沿道には観客の声援が響き渡り、選手の皆さんはかすかな花の香りがたよう中を力いっぱい走り抜けていました。



優勝トロフィーを受け取る後藤紘子さん(左)と後藤美紅さん(右)

五穀豊穡、家内安全を祈願

■醍醐荒処集落で沼入りぼんでん(平鹿)

5月1日、平鹿地域醍醐の荒処集落にある弁財天沼で、伝統の「沼入りぼんでん」が行われました。これは、集落到約300年以上前から伝わりとされる伝統行事。祭には新築や新婚の家庭、初めての子どもや厄年を迎える人のいる家などから男衆が参加する習わしで、長さ4mほどの杉丸太に福俵を飾ったぼんでんを沼の中心に突き立て、五穀豊穡、家内安全を祈願するものです。この日は5人の男衆が参加し、肩まで水につかってぼんでんを突き立てると、大勢の見物客から一斉に拍手が贈られました。



ぼんでんをかつぎ、沼に入る男衆

全校児童が107号線をきれいに

■福地小学校全校クリーンアップ(雄物川)

5月1日、福地小学校の全校児童78人が学校近くの国道107号線の沿道約1kmのクリーンアップを行いました。これは、普段身近に利用している道路をきれいにすることで、自分たちが住む地域への愛着を深め、環境美化に対する意識を高めようと平成7年から毎年行っているもの。回収されたゴミは軽トラック山盛り1台分。空き缶やタバコの吸殻が多く、中にはパソコンのディスプレイや看板の破片などもありました。心無い大人が汚した道路を子どもたちがきれいにしなければならないのは悲しいことですね。



児童たちが一生懸命ゴミを拾いました

情報

●お知らせのページ●

お知らせ



運動不足の解消に施設をご利用ください

南部シルバーエリア内の施設開放をします。施設では、高齢者用の筋力トレーニング機器や運動機器を取り揃えており、運動の苦手な方や運動のしかたがわからない方にも、専門のスタッフが指導します。

生活習慣病予防や、運動不足解消のためにもぜひご利用ください。

■期間 6月2日(金)から11月24日(金)までの火・金曜日
(開放日は全48回)

大森ワイン2006 第20回大森ワインパーティー

大森ワインの発売とともに、毎年行われてきたワインパーティーが、今年で20回目を迎えます。横手市大森町の地域ブランドとして全国にその名を知られている大森ワインを皆さんも味わってみませんか。ご参加をお待ちしています。

■日時 5月27日(土)午後7時開会(6時30分開場)
■場所 大森コミュニティセン
ター(大森地域局隣)
■定員 192名(チケット制)
■対象 20歳以上の方

特設人権・困りごと相談所の開設

6月1日は、人権擁護委員法が施行された日です。これを記念して、下記により特設相談所を開設します。

家族関係、近隣関係、名誉・信用の問題、いじめ、体罰、登記・供託・戸籍などの相談のある方はご相談ください。

また、人権擁護委員の自宅、法務局横手支局では、随時相談を受け付けています。相談は無料、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

■日時 6月1日(木) 午前10時～午後3時
■場所及び地区担当人権擁護委員

場 所	人権擁護委員名
ふれあいセンター 「かまくら館」	嵯峨 靖典 三浦 孝男 松井 敏博 七尾 喜美代 畑 恒子
増田地区多目的研修センター	佐々木 フミ 三浦 トク
平鹿生涯学習センター (旧中央公民館)	戸部 英二 菊池 廣 神原 英夫
雄物川コミュニティセンター	佐々木 栄一 高橋 雅子
大森コミュニティセンター	内藤 義明 嵐田 友之助
十文字総合文化センター	寺田 奎子 堀田 厚
山内公民館	佐藤 新一 高橋 悦
大雄地域福祉センター	滝澤 将弘 伊藤 安悦

■問合せ先 横手人権擁護委員協議会(☎32-5153)

■時間 午後5時30分～7時30分
■場所 南部シルバーエリア内
リハビリセンター
■対象者 40歳～64歳までの方
■使用料 ・1時間 100円
・2時間 200円
■問合せ 大森地域局福祉保健課
介護担当 ☎26-4030

「増田盆おどり交流会覚えてみませんか」
保存会会員手作りの交流会です。増田盆おどりのほか、元わらび座の菊池さんを迎えてのワシマンショーやミニ講習会があります。富山県発祥の盆踊り「おわら風の盆」なども覚えてみませんか。
■日時 5月28日(日)午後12時30分開場(午後1時開演)
■場所 増田ふれあいプラザ
コンベンションホール
■問合せ 増田町観光協会
☎45-5515

古式鉄砲及び刀剣類を所持する場合には、住所地の都道府県教育委員会に登録することが必要です。該当する方はお受けください。
■開催日 奇数月の10日
■時間 午前9時～午後12時
■場所 県庁第二庁舎52会議室
■問合せ 秋田県教育庁文化財保護室 ☎018-860-5194

■日時 6月3日(土)午前9時30分開会
■場所 横手養護学校グラウンド(雨天時は高等部体育館)
■問合せ 横手養護学校 ☎33-4166

催し



横手養護学校 運動会のお知らせ

■日時 6月3日(土)午前9時30分開会
■場所 横手養護学校グラウンド(雨天時は高等部体育館)
■問合せ 横手養護学校 ☎33-4166

■会費 5,000円(平鹿中央商工会大森支所または大森地域局でチケットをお求めください)
■問合せ 平鹿中央商工会大森支所 ☎26-2296

あいのの温泉直売所2周年記念&山菜まつり

2周年を記念して山菜まつりを開催します。餅つきや山菜汁試食会があります。
■日時 5月20日(土)・21日(日) 午前8時30分～午後6時
■場所 あいのの温泉鶴ヶ池荘前
■問合せ あいのの温泉直売所
山菜恵ちゃん ☎53-2710

■日時 5月28日(日)午後12時30分開場(午後1時開演)
■場所 増田ふれあいプラザ
コンベンションホール
■問合せ 増田町観光協会
☎45-5515

あさくら館 第12回こどもまつり

横手おやこ劇場では、今年で12回目を迎える「こどもまつり」を開催します。

紙芝居やリサイクル工作、お菓子づくりの体験コーナーなど、親子や子どもたち同士でも楽しめる内容となっています。
■日時 5月20日(土)午前10時30分～午後2時
■場所 あさくら館
■問合せ 横手おやこ劇場 ☎33-0812

横手地域の半日観光にご参加ください

日新館・本多上野介墓碑・横手公園・石坂洋次郎文学記念館などをマイクロバスで回ります。
■日時 5月23日(火)午前8時45分までに横手地域局市民広場に集合
■参加料 無料(定員20人)
■問合せ 横手地域局産業振興課
観光担当 ☎33-7111

知恵と勇気で消費者被害を防ごう！横手市消費者大会

5月は消費者月間です。消費

横手の公共温泉めぐり・スタンプラリー開催！

横手の公共温泉につかって

豪華賞品をもらおう！

横手市内にある公共の温泉に入浴し、スタンプを集めよう！抽選で豪華商品が当たります。

特賞 1年間横手市の公共温泉(下記参照)に無料で入浴できるフリーパスを10名様にプレゼント。さらに10名の中から抽選で1名様に「金の桶」をプレゼントします。

- 1等 地酒2本セット(10名様) 2等 大沢葡萄ジュース2本セット(15名様)
3等 横手弁てぬぐい(80名様)

スタンプラリーへの参加用紙・パンフレットは各地域局窓口及び市内公共温泉、公共施設等に用意しています。詳しくは、市産業経済部観光物産課(増田庁舎内、☎45-5519)まで。

●協賛公共温泉施設 【増田】ゆ～らく、さわらび【平鹿】ゆっがる【雄物川】雄川荘、三古山荘、えがの丘【大森】大森健康温泉、さくら荘【山内】鶴ヶ池荘【大雄】ゆとりおん大雄



湯ったりウオーキング大会
in横手 参加者募集
県では、身近にある自然と温泉という資源を活用して、高齢者が健康づくりのための運動に親しむことを目的としたウオーキング大会を開催します。詳しくは左記までお問い合わせください。
■日時 6月2日(金)午前9時受付開始 雨天決行
■場所 かんばの宿横手

■対象 原則として65歳以上の方
■参加費 無料
■定員 50人
■内容 横手の街を巡る約6キロの周回コース。終了後は、かんばの宿横手で温泉入浴申込み 5月26日(金)まで
申込書は各地域局窓口にも用意します
■問合せ 県健康福祉部長寿社会課
高齢者健康づくり推進チーム ☎018-860-1327

講習講座 お父さんの地域デビュー「おやじ元気講座」

県の教育委員会では、子どもたちと一緒に体験活動を行う、お父さんの「地域デビュー」を応援します。
6月下旬から保呂羽山少年自然の家と近代美術館でそれぞれ5回行われる講座です。受講後も、親子で楽しく体験できる内容となっています。
地域のサークル活動としてもご利用いただけます。受講料は無料です。

講座内容や日程などの詳細については、左記の問い合わせ先までご連絡ください。
■問合せ 秋田県南教育事務所
社会教育班 ☎32-1101

横手市手話奉仕員養成講座参加者募集

市では、手話を初めて学ぶ方を対象とした養成講座を実施します。
■日時 6月13日(火)午後7時～9時(毎週火・木曜日の全18回)
■場所 かまくら館ほか
■問合せ 横手地域局福祉保健課 ☎32-2710

■問合せ 日本網膜色素変性症協会
秋田県支部 小林さん
☎0183-62-4191

日本網膜色素変性症協会 秋田県支部医療講演会

講師に山田眼科医院の山田西之先生を迎え、視覚障害者や視覚障害者と関わる方々を対象とした講演会を開催します。
目に対する知識を深めるとともに、視覚障害者の日常生活の送り方についても学びます。

■日時 6月11日(日)午後1時30分～3時
■場所 秋田県社会福祉会館9階 第4会議室
■問合せ 日本網膜色素変性症協会
秋田県支部 小林さん
☎0183-62-4191

パソコン会計講習会 参加者募集

決算や申告までの計算が楽に出来る会計ソフト、ブルーリターンAで会計の講習を行います。どんな業種でも消費税の申告などができますので、ぜひご参加ください。

■日時 5月24日(水)午後1時30分～4時30分
■場所 横手市民会館
■定員 20人
■受講料 2,000円
■問合せ 横手青色申告会 ☎32-8452

料理・アクアビクス・ヨガ教室を開講

南部シルバーエリアでは「活き活き学園」の料理教室を開講します。今回はレストラン煉瓦屋の小松一萬さんを講師に迎え、デザート作りに挑戦します。また、エリアでは新たにアクアビクス教室とヨガ教室を開講します。こちらにもぜひご参加ください。

■料理教室
■日時 5月28日(日)午前10時
■参加費 1,000円
■申込み 5月21日(日)まで
■アクアビクス教室
■日時 5月27日(土)午前10時

30分～11時30分
■参加費 1,000円
■ヨガ教室
■日時 5月27日(土)午前10時30分～11時30分
■参加費 1,000円
■問合せ 南部シルバーエリア ☎26-3880

秋田県野球協会 二種公認審判員資格審査会

秋田県野球協会主催による野球の二種公認審判員資格審査会を開催します。

■日時 5月28日(日)受付午前8時から
・事前講習 午前9時～12時
・筆記試験 午後1時～2時
・実技試験 午後2時～

■場所
・事前講習と筆記試験Ⅱ横手平鹿生涯学習センター
・実技試験Ⅱ横手平鹿町営野球場(雨天時は屋内スポーツセンター)

■受験資格 原則として、平成18年4月2日現在、県内在住で満17歳以上50歳以下であること
■受験料 3,500円(高校生は無料)
■問合せ 秋田県野球協会小杉さん ☎24-2771

パパママ教室参加者募集

まもなくお父さん、お母さんになる皆さんが、妊娠から出産までを安心して乗り越え、楽しく育児ができるよう次により育児教室を開催します。

■対象者 8月から11月までに出産予定の方
■日程 1回目 6月2日(金)「赤ちゃんもく浴練習」
・2回目 6月9日(金)「妊娠中の食事、パパの妊婦体験、マタニティービクス」
・3回目 6月16日(金)「講話『大切ないのち』」

■時間 午後6時30分～8時30分
■場所 横手保健センター
■定員 18組
■申込み 5月26日(金)まで
■問合せ 横手保健センター ☎33-9600

募集

ODA民間モニターを募集します

外務省では、日本が海外で行っているODA(政府開発援助)の現場を直接視察していただく「ODA民間モニター」事業を

いどばた プラザ

市民主催の催し等をお知らせするコーナーです

中学数学・英語無料授業

■日時 5月15日(月)～31日(水)
■場所 中学数学専門塾(赤坂字大道向)
■参加費 無料
■問合せ 中学数学専門塾 ☎33-0043

アフリカへ毛布をおくる運動

アフリカへ贈る毛布をお持ち帰りください
■日時 5月21日(日)午前10時～午後12時
■場所 ハッピータウンよねや前
■問合せ 秋田県明るい社会づくり運動県南ブロック協議会 ☎33-6604

第7回 横手ばらまつり全県囲碁大会 クラス別ハンディ戦です

■日時 6月4日(日)午前9時から
■場所 かんぼの宿
■参加費 小中学生1,000円、一般2,000円(昼食付き)
■問合せ 小室さん ☎37-3740

パソコン講座 無料講習

■日時 第1・3金曜日午後3時～4時
■場所 横手パソコン(赤坂字大道向)
■参加費 無料(定員10人)
■問合せ 横手パソコン ☎33-0043

車椅子レクレーションダンス普及会 秋田南支部教室

車椅子レクレーションダンスを通して、健康者と車椅子利用者との交流を図ります
■日時 5月20日(土)午後1時～2時
■場所 醍醐公民館
■参加費 無料
■問合せ 大庭さん ☎25-3086

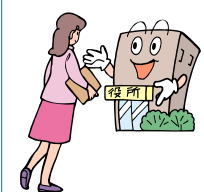
ものづくり体験講座

半田ゴテを使って「光るオルゴールごま」を作ります
■日時 5月27日(土)午後1時30～3時30分
■場所 横手市民会館
■対象 小学生から一般(小学生は保護者同伴)
■受付 5月22日(月)～26日(金)午前8時30分～午後5時30分
■問合せ 中研研総業大曲営業所 ものづくり体験講座係 ☎0187-66-3755

巨樹・古木を見る会 会員募集

市内の巨木や古木に興味はありませんか。参加者に説明会を開催します
■日時 6月11日(日)午後2時から
■場所 かもくら館5階
■問合せ 高橋さん ☎33-5708(日曜以外の夜)

市からのお知らせ お昼の窓口業務について



市の各地域局窓口では、昼休み時間を次のように区分し、交代制での通常勤務としています。このため、窓口担当職員がお昼前や午後1時過ぎに休憩時間として外出させていただく場合がありますが、市民の皆さんにはご不便をかけないよう対応していますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

■昼休み 1部 11時30分～12時30分
2部 12時30分～13時30分 ■総務企画部人事課

4月20日～5月31日 春の農作業安全月間 農作業の事故にご注意ください

春の農繁期を迎えました。例年この時期は農作業に係る事故が多く発生しています。このため、県では4月20日から5月31日までを「春の農作業安全月間」と定め、事故の未然防止と安全対策の徹底を呼びかけています。細心の注意を払い、事故の無い作業を心がけましょう。



“事故の芽を摘む工夫をしよう”

相談

エイズ及び性感染症の個別相談と検査の実施について

横手保健所では、エイズ及び性感染症に関する相談・検査を毎月実施しています。相談・検査は、匿名・無料で受けられます。ご利用の際は予約の上、来所してください。

■日時 毎月第一火曜日
■受付時間 日中 午前10時～11時
■場所 横手保健所
■内容 エイズ即日検査及び性感染症等に関する相談・検査
■問合せ 平鹿地域振興局福祉環境部疾病予防・医薬班 ☎32-44005

笑顔がいっぱい





有限会社 沖田板金

沖田 武さん (68歳・横手)

業界常識を打ち破る発想

「長い間、この仕事を続けてきたことが評価されたのでしょう」巧は、昨年の「名工」受賞の栄誉を満面の笑みで振り返る。しかし、喜びと自信に満ちあふれたその笑顔は、作業場に入ると一転、仕事人の鋭い目つきに変わる。

中学校卒業以来、自動車整備業一筋。その間、豊富な経験を生かし、塗装に関するさまざまな技法をみずから手で生み出してきた。中でも、従来の工程から、本塗装前の下地処理となるサーフェサー工程を省いた「常識外れ」の技法は今から15年ほど前に確立。取り扱いが難しいとされる外国製の塗料を使用することで作業時間の大幅な短縮を可能にしたこの技法は、半世紀にわたる経験を持つ巧のみがなせるもの。

受賞後、飛び込みで訪れる客も増えたという。金属塗装部門として東北地方初の栄誉に輝いた巧は「お客様の期待を裏切るわけにはいかないですから」と、さらに気を引き締める。名工を育てあげたのは他でもない、本人のたゆまぬ努力と探究心ではないだろうか。



昭和12年、静岡県生まれ。父親の仕事の都合で山形県に移り住み、中学校卒業後に自動車整備工場に就職。昭和42年に横手市に移り、後に沖田板金を創業。その卓越した技術が評価され、平成17年度「現代の名工」に選出される。1級金属塗装技能士。



確かな技術で新車同様の保証

フラワーショップにお勤めの佐藤さんは、大分県別府市出身。別府市内の高校を卒業後に上京。その後、夫である均さんと知り合い、結婚を機に平鹿町に移住。現在28年目の「横手生活」を送っています。

「空の青と田んぼの緑のコントラスト、春は爛漫、雪は美しく、山脈の広がる雄大な景色」と、結婚する際の夫の『横手PR』はすごいものでした(笑)。実際、こちらに来て初めての冬、雪景色の美しさに感動したことを覚えています」と横手の印象を笑顔で語る佐藤さん。「気候風土と生活をうまく折り合わせれば、暮らしやすい



平鹿地域
佐藤淑子さん(55歳)

大分県別府市出身。父・母・夫・長女・次女・長男の7人家族。



土地ですよ」と雪国で暮らす秘訣を教えてください。

新市が誕生した昨年10月、佐藤さんは別府市で一人暮らしとなつた母親を横手に呼び、親子での横手生活をスタートさせました。

「一緒に暮らしていませんが、遠く離れての一人暮らしは心配ですし、少しでも側にいてほしいと思います、来てもらいました。初めての冬は雪の多さに驚いているようでしたが、春はきれいな桜がたくさん咲くところだと喜んでいて様子です。これからも横手のいいところをたくさん教えてあげたいと思っています」

佐藤さんをつうじて、また一人、横手を愛する人が生まれそうです。

読者プレゼントにご協力を

市報よこてでは、市内業者の皆さんへ「読者プレゼント」へのご協賛をお願いしています。

横手市内にあるたくさんの特産品や名産品を市報を通して市民の皆さんに知っていただくと共に、市内全世帯に配布される広報紙を活用した商品の宣伝に、ぜひ市報よこてをご活用ください。

■連絡先 秘書広報課：広報広聴担当(☎35-2162)

編集後記

◆「私のまちの市長室に参加。テーマである農政改革の内容について、市民の皆さんにわかりやすく紹介するためにも、まず自分が知らなくてはならないことを痛感。農家の皆さんの声を交え、今後の市報で紹介したいと思っています。」(卓)

◆混雑が嫌で敬遠していた角館の桜を初めて見に行きました。朝5時に出発し、混雑を避けるため脳みそが始動する前に帰るといふ強行軍でしたが、朝日に照らされた桜の美しさと、その下で食べた朝食のおにぎりのおいしさは格別でした。(孝春)

◆数年間付き合ってきた虫歯の親知らずとサヨナラしに歯医者へ。抜歯している時は麻酔が効いてたが、しばらくすると激痛が。痛み止めを飲んで和らげるが、今度は、ほっぺがアンパンマンのように。恥ずかしくて人前に出られません。(克彦)

◆最近、田畑の変化の早さに驚かされます。田を耕し、水を張り、苗を植える。農家の皆さんの手により生まれる横手産の食物たち。今、勢いよく成長するのは私だけでしょうか。大切にしたい地の恵みですね。(小百合)

思えば遠く来たもんだ

No.7

◎お便りをお寄せください。

よこて遺産

THE YOKOTE HERITAGE
No.7

【横手地域】

旧日新館

県指定有形文化財（建造物）

旧日新館は、明治35年（1902年）小坂亀松が旧制横手中学校（現在の横手高校）の英語教師として赴任したアメリカ人チャールス・C・チャンプリンの住居として建てたもので、大工の棟梁は藤村初五郎と伝えられています。

この建物は、木造2階建、建築面積98㎡。屋根は寄棟造、桤板葺（現在は鉄板葺）で、棟端部などに鬼板をあげ、外壁は下見板張りで、洋館にはきわめて珍しく、木肌も美しい素木造の簡潔な住宅です。

また、すぐれたデザインの北側正面の玄関。バルコニーの独特な柱頭飾りや上げ下げ窓の上部の櫛形、下部の繰り形状の飾りなど、明治期の洋風建築の特色を残しています。

内部は一、二階とも中央に廊下をとり、一階は応接室・食堂などとし、二階は寝室・書斎などの私的な部屋として利用されました。

旧日新館は、県内に残る明治時代唯一の木造洋風住宅で、秋田県の近代教育・宗教・文化史上重要な遺構として、昭和59年に県の有形文化財（建造物）に指定されています。

発行／横手市役所 ☎0182-35-2111(代)

編集・デザイン／総務企画部秘書広報課
〒013-8601 横手市前郷字下三枚橋163 ☎0182-35-2162 0182-33-6061
ホームページアドレス／<http://www.city.yokote.lg.jp/>